

日立市議会 だより

No. 220
R4.1.20

第4回 定例会

11/29~12/17



【主な内容】

- 新春のあいさつ(日立市議会議長) …………… 2面
- 一般質問(10名が登壇) …………… 6面
- 特集記事(日立市総合計画特別委員会) …………… 12面

かみね動物園の猛獣舎が生まれ変わります。

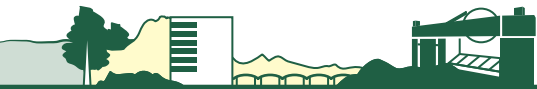
2022



かみね動物園のベンガルトラ
愛称「さわ」(メス)



かみね動物園
公式ホームページ



議会活性化の 一層の推進へ向けて



日立市議会議長
蛭田 三雄

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、2022年の新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
また、日頃から、市議会の運営に對しまして、ご指導、ご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一年遅れの開催となった東京2020オリンピックでは、柔道、野球、ソフトボールをはじめ、様々な競技における選手の活躍により、日本は過去最多となるメダルを獲得するなど、私たちに夢や希望、感動を与えていただきました。
また、新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言の発令などにより、外出の自粛や公共施設の休館、各種イベントの中止など、私たちの市民生活に大きな影響を及ぼしましたが、国や県による緊急対策や日立市独自の支援策の速やかな実施のほか、何より市民の皆様の徹底した感染症対策によりまして、社会経済活動の正常化に向けて少しずつ動き出しております。

一方、私も市議会におきましては、効果的、効率的な議会運営と危機管理体制の更なる強化のため、タブレット端末を導入し、情報伝達の迅速化を図るとともに、デジタル社会に對応した議会運営について、議論を進め、さらに、市民の皆様へ向けた情報発信力を強化するため、議会だよりやホームページの内容充実を図るほか、ケーブルテレビやFMラジオ、インターネットによる議会中継についても対象を拡大し、より身近で分かりやすい、開かれた議会を目指して取り組んでいるところでございます。
本年も全議員が一丸となり、議会活性化の一層の推進を図るとともに、議員間での議論及び議会と行政との議論を重ね、市民の皆様様々なご意見を適切に市政に反映することができるよう努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Pick up! 議案紹介

議案第70号 令和3年度日立市一般会計補正予算(第6号) 1億8,477万1,000円

主な事業

その1 特産農産物産地育成事業 756万8,000円

市の地域ブランド品である「茂宮かぼちゃ」の作付面積の拡大を図るため、茂宮かぼちゃの生産者が実施する「耕作ほ場整備(暗渠排水工事)」に対して補助します。

【補助の理由】雨量増加の影響等による疫病の発生により茂宮かぼちゃの生産量が大幅に減少しており、疫病対策について、地域農業改良普及センターから、ほ場の排水を改善する暗渠排水工事の実施が最善策であるとの指導を受けたため。

ワンポイント解説!!

茂宮かぼちゃは、粉質が強く栗のようにほくほくとして甘いのが特徴で、平成23年に市の地域ブランド品として認定されました。しかしながら、生産者の高齢化と後継者不足により、作付面積の減少が著しい状況にあります。収穫量が減少していき

※毎年6月から8月中旬まで出荷されていますので、ぜひ、ご賞味ください。

その2 日立駅前再活性化事業 1,265万円

日立駅前地区における交流人口の拡大や新たなにぎわい創出を図るため、「日立駅前地区活性化委員会」が実施するイベント開催等の事業に対して補助します。

【主な内容】

- ①各種イベントの企画・実施
- ②期間限定店舗の開設
- ③交流・滞留スペースの設置

議案等の議決結果



提出された議案等を日立市総合計画特別委員会及び3つの常任委員会で審査しました。審査の概要は4,5,12面に掲載しています。

【議案】

第69号	日立市総合計画（基本構想部分）の策定について	原案可決
第70号	令和3年度日立市一般会計補正予算（第6号）	//
第71号	令和3年度日立市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
第72号	令和3年度日立市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
第73号	令和3年度日立市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	//
第74号	令和3年度日立市水道事業会計補正予算（第1号）	//
第75号	令和3年度日立市下水道事業会計補正予算（第1号）	//
第76号	日立市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	//
第77号	日立市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	//
第78号	日立市農業共済事業条例を廃止する条例の制定について	//
第79号	市道路線の廃止について	//
第80号	市道路線の廃止及び認定について	//
第81号	日立市鶴来来の湯十王の指定管理者の指定について	//
第82号	久慈サンピア日立スポーツセンターの指定管理者の指定について	//
第83号	茨城北農業共済事務組合の解散に関する協議について	//
第84号	茨城北農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	//
第85号	専決処分について（令和3年度日立市一般会計補正予算（第5号））	原案承認
第86号	令和3年度日立市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

【請願・陳情】

第7号	私学の保護者負担軽減と教育条件改善のための陳情	採択
第8号	コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書採択を求める請願	不採択

【報告】

第21号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第22号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第23号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）

【賛否の分かれた議案等】 賛成（採択）：○ 反対（不採択）：●

記載のない議案等については、全員が賛成となりました。

議案等の番号	日立市政クラブ						民主クラブ						公明党				ひたち未来				無党派							
	藤森結花	杉本和子	照山晃央	瀬谷幸伸	今野幸樹	蛭田三雄	飛田謙一	佐藤三夫	堀江紀和	豊田茂	助川悟	粕谷圭	白石敦	吉田修一	伊藤健也	青木俊一	添田絹代	篠田砂江子	下山田幹子	三代勝也	館野清道	石井仁志	伊藤智毅	白土仙三郎	永山堯康	千葉達夫	小林真美子	
議案82	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

※1 議長は採決には加わりません。

※ 日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できるようになっており、議会だよりでは3人未満の場合は「無党派」と表示しています。

※ 議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

委員会審査の概要

市長から提出された議案等を、3つの常任委員会でも専門的かつ能率的に審査しました。審査内容の一部を要約して紹介します。

総務産業委員会

議案8件(補正予算2件、条例1件、その他5件)を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

審査した主な議案

令和3年度一般会計補正予算

主な歳入

・国庫支出金(新型コロナウイルスワクチンの3回目接種費用などの財源。市内初の取組となる0歳〜2歳児を自宅等で保育する事業の開設準備経費に対する補助の財源など)

・県支出金(民間事業者が行う認知症高齢者グループホームの防災改修工事及び介護医療院の開設準備に対する補助の財源など)

・その他(防災対策事業や感染症対応事業に対する寄附金の受入れなど)

主な歳出

・戸籍住民記録等事務経費(マイナンバーカード取得者の増加により、コンビニ等での証明書発行件数が増えたことから、関連経費を増額する。)

・雇用安定対策事業費(国の雇用調整助成金に対する市独自の上乗せ補助としての緊急雇用維持支援金について、申請件数の増に伴い増額する。)

環境建設委員会

議案5件(補正予算3件、その他2件)を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

審査した議案

令和3年度一般会計補正予算

主な歳出

・中所沢川尻線改築事業費(小木津町から折笠町までの都市計画道路として整備している市道640号線(中所沢川尻線)について、事業の進捗を図るため工事請負費を増額する。)

令和3年度水道事業会計補正予算

令和3年度下水道事業会計補正予算

・弁天町2丁目地内を流れる雨降川における雨水管渠改築工事の設計変更に伴い、支障となる下水道管を移設するための工事請負費の増額やガス管等の移設補償金の増額など

市道路線の廃止

・公用廃止に伴う石名坂町2丁目地内など4路線の廃止

市道路線の廃止及び認定

・開発行為に伴う鮎川町2丁目地内1路線の廃止及び2路線の認定



久慈サンピア日立スポーツセンターの指定管理者の指定

令和4年4月1日から5年間の期間を定め、本施設の指定管理者に公益財団法人日立市体育協会を指定する。

主な質疑

問 久慈サンピア日立とスポーツセンターの今後の連携についてどう考えているか。

答 今後もしっかり連携していかなければならないと考えており、久慈サンピア日立との連携を条件の一つとして指定管理者を選定した。

意見

両施設が緊密に連携し、体育協会のノウハウも生かしながら、宿泊者をより多く呼び込んでほしい。あわせて、地元の方々も利用できるよう、うまくバランスを取りながら、魅力ある一体型のスポーツ・レジャー施設にしてほしい。



鵜来来の湯十王の指定管理者の指定

令和4年4月1日から5年間の期間を定め、本施設の指定管理者に公益財団法人茨城県開発公社を指定する。

主な質疑

問 買物代行支援事業補助について、ほかに参加する事業者はなかったのか。

答 市内の店舗に声をかけたが、条件が合わず、やむを得ず事業を中止した。

意見

買物代行支援事業は、移動販売を行う店舗だけでなく、宅配を担うタクシー事業者も期待していた事業だと思われる。市の総力を挙げて仕組みを考えてほしい。

教育福祉委員会

議案7件(補正予算5件、条例2件)を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

審査した主な議案

令和3年度一般会計補正予算

主な歳出

・私立保育園整備費助成事業費(0歳～2歳児を対象に、保育者の自宅等で最大5人まで保育する家庭的保育事業所(2事業所)の開設準備経費に対する補助)

主な質疑

問 本市でこれまでに例のない小規模の保育事業となるが、運営状況の確認はどのように行われるのか。

答 市が事業の認可を行うことから、年に1度の立入調査により、適正な運営が確保されているかを確認する。

意見 新たな保育の受け皿として、本市の子育て支援の充実に寄与する事業であるため、運営状況の把握に努めるとともに、事業者への継続的な支援や、新規参入の促進を図ってほしい。

問 家庭的保育事業所の職員については、「保育士資格の有無を問わず、所定の研修受講が必要」とされているため、安全面を心配す

るが、どのような配慮があるのか。

答 事故防止のための機器購入に対する補助制度を積極的に活用してもらうなど、事業者には安全確保に努めていただく。



・放課後児童対策事業費(市内児童クラブのWiFi環境を整備する。)
※公設児童クラブ23クラブ、民間児童クラブ7クラブ

・新型コロナウイルスワクチン接種事業費(追加接種に係る事業費を増額する。対象者は、令和3年3月から6月までに2回接種を終了した約2万4500人)
※7月以降に終了した者(12万人)及び5歳～12歳の子供(9500人)の接種については、順次対応していきます。

日立市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定

「中里小学校」と「中里中学校」を統合し、新たに義務教育学校(※)として「中里小中学校」を設置するため、関係規定を改める。



※義務教育学校とは、小学校・中学校といった枠組みをなくし、9年間を見通した学習計画を組み立てます。そのため、「中一ギャップ」の解消につながり、さらに、全ての学年で教員の専門教科の授業が受けられます。



「中里小中学校」は、令和4年4月から現在建設中の新しい校舎でスタートします。

令和3年度補正予算の概要

■一般会計

12億7306万8千円を増額
(予算総額758億8913万1千円)

■特別会計(7会計合計)

4325万9千円を増額
(予算総額492億1610万1千円)

採択した陳情

◇私学の保護者負担軽減と教育条件改善のための陳情

陳情の趣旨

・保護者の負担軽減等のため、市内の私立高等学校及び中学校に在籍する生徒に対する授業料補助や私立高等学校振興補助金の増額を求める。

陳情の理由

・県民の教育に対し、茨城の私学が果たしている役割は極めて大きく、公立学校とともに学校教育の重要な責務を担っている。しかしながら、私学の経営基盤は弱体であり、また、就学支援金制度に所得制限が導入され、授業料を全額負担する世帯も出てきている。今なお私学の生徒と保護者は、高い学費負担、公私間格差を強いられていることから、教育の機会均等のために、更に努力されることを要望する。

(本陳情を執行機関へ送付し、その処理経過及び結果について報告を求めます。)

石井 仁志 議員（ひたち未来）

コミュニティの 持続可能性と町内会

議員 本市のコミュニティ制度は全国から注目されているが、学区コミュニティの後継者不足とそれを支えている自治会・町内会（以下、町内会と略）の消滅の危機にあると考えている。

町内会消滅の流れは、市から町内会への金銭的余得、あるいは行政を動かせる権限の付与がなければ、再生は不可能である。

代わりに地区の共助を担うのは、例えば、大みか学区で募集した市報配布員のような有償ボランティアの人たちであり、独居高齢者の動向まで把握している人たちが学区コミュニティを持続させたいと考えている。

そこで、これまで町内会が担ってきた役割をどのようにしていく考えなのか、見解を伺う。

生活環境部長 各コミュニティを構成している町内会において、その活動などをこれまでどおりに維持していくことは、社会環境の変化などから厳しい状況にあると認識している。

市としては、町内会が担っている役割の中でも「ご近所同士

(録画配信)



の声掛け」や「地域の見守り」といった地域に欠かすことのできない活動が維持できるような支援するとともに、町内会が組織されていない地域においても、役割が担える仕組みづくりを検討していきたいと考えている。

今後は、緩やかなつながりも互いに認め合いながら、つながりを更に広げていくことで、現在、策定を進めているコミュニティ活動推進行動計画の目指す姿である

「コミュニティ活動を中心とした支え合いのまちひたち」の実現に向け取り組みを深めていく。



道路の美化活動を行うコミュニティ推進会の皆さん

その他の質問

● 公共施設マネジメントの取組と考え方

瀬谷 幸伸 議員（日立市政クラブ）

奥日立きららの里 ―民間との協働による再生―

議員 近年、国内レジャーの需要は、急激に大きな変化を見せており、都会の喧騒から離れた自然の中で遊ぶというニーズが爆発的に高まっている。

人々の行動が大きく変化している中、奥日立きららの里は、48ヘクタールという広大な自然を有しながら、その中が囲われていて、自然に触れながらも比較的安全性を担保しやすいという大きなメリットがあり、コンテンツ次第では大きく化ける可能性が非常に高いと考えている。

時代の変革期である今、全国区のレジャースポットを目指し、本気で施設再生に取り組むため、ノウハウと実績があり、ブランド力を持った民間企業との協働による施設再生を目指すべきと考えるが見解を伺う。

産業経済部長 新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、自然志向が更に強まり、新しい生活様式に対応したアウトドアフィールドへの需要が高まっている。全国の公共アウトドア施設においては、民間事業者の専門

(録画配信)



的な知見や経験を導入し、施設活性化を図る事例がいくつか見られる。

民間企業との協働による施設の再生は、施設の機能や役割の整理はもとより、収支バランスやマーケティングの手法など、行政の不得意な分野において専門的な知見に基づいた判断が可能であり、奥日立きららの里の有する魅力と可能性を見いだし、整備運営を検討するに当たっては大変有効と考えている。

今後は、全国の先進事例を参考としつつ、民間企業との協働の実現について、しっかりと検討していく。



奥日立きららの里

その他の質問

● 公共交通の未来について
● ひたちナビについて

各議員の質問と答弁を要約して掲載しています。
QRコードを読み取ると、一般質問の録画配信を全てご覧いただけます。
日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成することになっており、
3人未満の場合は無会派と表示しています。



助川 悟 議員 (民主クラブ)

(録画配信)



デジタル社会の

実現に向けた取組
—データの活用による
まちづくり—

議員 国は、デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針の中で、行政が保有する様々なデータの提供により、民間における多様なデジタル・ビジネスを創出するなど、デジタル化のための基盤を構築していくとしている。

しかし、全国の自治体がオープンデータとして公開している分野は、基礎的な統計情報等が主で、その種類はあまり多くはなく、本市においても同様である。

オープンデータの量と質の向上は、地方発ベンチャーの創出促進や行政機関自身によるデータ分析等の利活用促進のためにも重要であると考えられる。また、行政ビッグデータの利活用についても調査研究が進んでおり、AIなどを駆使して分析することで、地域が抱える多様な課題を解決できる「データ利活用型スマートシティ」の実現も期待されている。

そこで、次世代型未来都市を目指す本市におけるデータの活用に関する取組と今後の展開について、見解を伺う。

市長公室長

行政が保有するデータについては、官民を問わない様々な主体による活用により、創意工夫を生かした多様なサービスの迅速かつ効率的な提供のほか、少子高齢化の進行など様々な課題の解決につながることを期待され、活用のみならず、広く公表することが求められている。

そのため、本市においては、観光施設や介護サービス事業所の一覧など14件をオープンデータとしてホームページで公表しており、引き続き、企業などからの要望等を踏まえながら、公表データの拡充に努めたいと考えている。

また、行政には、データを活用した政策立案を行うことにより、効果的かつ効率的な施策の展開を図ることが求められている。そのためには、データ活用に関する技術の習得が必要であることから、外部有識者から助言を得るなど、データ活用のノウハウの蓄積や人材の育成に注力するとともに、全庁的な意識醸成を図りたいと考えている。

その他の質問

● 財政政策について

照山 晃央 議員 (日立市政クラブ)

(録画配信)



不登校児童生徒の支援策

—フリースクールの推進—

議員 多様で複雑な理由により学校に通うことのできない不登校児童生徒の数は、全国的に増加している。茨城県においても、小学校で4年連続、中学校では7年連続増加しており、学びの機会の確保が大きな課題となっている。

このような中、県教育委員会では、不登校児童生徒の学校以外における学びの場の選択肢の一つとして、フリースクールを支援する事業を開始した。

本市においては、フリースクールの団体や施設はなく、「ちやれんじくらぶ(※)」で社会的自立を目指した支援や学習支援等、学習環境の多様化に対応しているが、それだけでは不登校児童生徒の数を抑えることができていない現状がある。

そこで、増え続ける不登校児童生徒の新たな学びの場や居場所、友達づくりの場として、フリースクールを推進する必要があると考えるが、見解を伺う。

居場所となる取組を行っており、学校が行う一人一人に応じた支援や「ちやれんじくらぶ」とともに、社会的自立のための選択肢の一つと考えている。

本市においては、保護者と学校との十分な連携・協力関係の上で、フリースクールへの出席を学校の出席日数として認めるなど、その状況把握に努め、支援に当たっていると認識している。

今後不登校児童生徒の社会的自立に向け、フリースクールとの連携を含め、不登校児童生徒への多様な支援が充実するよう、引き続き研究・検討していく。



※「ちやれんじくらぶ」
学校以外の居場所が必要な児童生徒が通級する市の適応指導教室

その他の質問

● 商店会等が所有する街路灯について

篠田 砂江子 議員（公明党）

河原子北浜海岸の駐車場整備
—今後の方向性—

議員 河原子北浜海岸は、サーフィンに適した海岸として市内外からの来訪者が集い、全国大会の会場として利用されている。

他県のサーフィン会場では、駐車場から海岸まで10分以上歩く会場もある中、駐車場が隣接されている河原子北浜海岸は、波も良く浜の長さも十分にあり、素晴らしい環境にあると喜ばれている。

そこで、河原子北浜海岸の駐車場整備については、サーフィン大会だけでなく、イベント開催時にも必須となることから、海岸に訪れた方々が更に利用しやすくするために、どのように考えているのか、見解を伺う。

産業経済部長 駐車場については、平成19年の河原子北浜スポーツ広場の開設に合わせて160台分が整備されており、スポーツ広場や海辺を楽しまれる方々に利用されている。

駐車場の維持管理については、スポーツ広場と連携を図りながら、場内清掃などの業務を行い、安全で安心な駐車場利用に努めているが、駐車場の約半分しか

アスファルト舗装されておらず、一部、区画線の表示やロープに不具合も見られる。

河原子北浜海岸は、全国規模のサーフィン大会や音楽イベント等が開催されるなど、活用がバラエティに富んでおり、海岸線を含めたエリア全体の在り方を改めて考えていく必要があると感じている。そのため、駐車場整備は、北浜エリア全体の利活用を考えた中で、利用者がより安全かつ快適に利用できるような規模や安全対策などを定めていく。

令和3年10月に河原子北浜海岸で開催された「第29回ジュニアオープンサーフィン選手権大会」



令和3年10月に河原子北浜海岸で開催された「第29回ジュニアオープンサーフィン選手権大会」

その他の質問

- ICTを活用した児童生徒への支援について
- 少子高齢化対策事業について

(録画配信)



千葉 達夫 議員（無党派）

県産業廃棄物 最終処分場の整備
—確認書について—

議員 県は、9月、10月に基本計画策定委員会を開催し、その中で豪雨対策について審議しているが、「熱海で26名の命が失われ、他人事とは言えない」といった不安がある中、市民の安心が得られるのか。また、本体のことだけを審議しており、どこで新設道路について審議するのか疑問である。

基本計画策定委員会は継続審議中で来年1月まで審議されるが、小川市長から茨城県知事への回答には、県に遵守していただきたい項目が記されており、項目の内容は、基本計画策定委員会で審議している内容に関わっている。

その中には「本回答の内容等を文書として取りまとめ、茨城県知事と日立市長との間で確認書を交わすこと」とあるが、どのような形で取り交わしへと進むのか、現在の準備状況を伺う。

保、生活環境の保全や近年の自然災害を踏まえた万全の環境保全対策、搬入ルートへの遵守を含めた交通安全対策、地域振興のための環境整備を確実に実施することや、回答内容について確認書を交わすことなどを条件としている。

現在、県との連絡調整を図りながら、取り交わしに向けた準備を進めている段階であり、調整が整い次第、確認書を取り交わしたいと考えている。

新産業廃棄物最終処分場建設予定地(諏訪町)



新産業廃棄物最終処分場建設予定地(諏訪町)

生活環境部長

県からの新処分場整備の受入要請について、本市では8月5日に受諾の回答をしたところであり、受諾する前提として、地域住民の安全確

その他の質問

- 男女雇用機会均等について

(録画配信)





添田 絹代 議員 (公明党)

日立特別支援学校への 幼稚部設置

議員 現在の日立特別支援学校には、小学部・中部・高等部が設置され、障害のある子供たちに寄り添った本市独自の教育に取り組んでいただいている。

近年は、新生児医療の進展から先天的な疾病を持つ子供たちの命を救うことが可能となる一方で、退院後も医療的ケアを必要とする幼児が増えている状況等もあり、特別支援学校への幼稚部設置が求められている。

このような中、本市の公共施設マネジメント計画においては、日立特別支援学校の校舎改築について検討されているが、今後の特別支援教育の更なる充実を考慮している本市として、幼稚部設置も検討され、校舎設計画策定を進めてはいかかがか、見解を伺う。

教育長 本市では、発達に何らかの障害があると思われる幼児を対象に、みやた認定こども園さくら組や子どもセンターさくらんぼなどで個別指導や小集団での活動を行っている。

さらには、発音や話し方が気になる幼児を対象としたことば

の教室幼稚部や、肢体不自由児が保護者とともに機能訓練を行う母子療育ホームなど、他市に比べて、就学前の早い段階から適切な支援を受けられる場が充実している。

特別な支援を要する子供たちは、幼児期からの教育相談や支援に引き続き、就学後も心身の状況等に応じた支援を受けられることが必要と考えている。

日立特別支援学校は、施設の老朽化や狭隘化により校舎改築が課題となっており、将来的な県への移管を視野に入れながら、幼稚部設置の必要性のほか、その実現性も含めて検討している。



日立市日立特別支援学校

その他の質問

- 公立保育園における3歳以上児給食の主食持参について
- 日立市女性センターの名称について

(録画配信)



豊田 茂 議員 (民主クラブ)

自然を活かした特色ある 公園等の整備 — いぶき山 イブキ樹叢の活用 —

議員 国民宿舎鶴の岬の北側、高萩市との境界にある「いぶき山イブキ樹叢」は、推定樹齢400年と言われ、江戸時代の文獻に「竜や虎などさまざまな形に見える自然の妙がすばらしい」と記録され、大正11年には本市で唯一、国の天然記念物に指定されているが、広く知られていないなどの課題がある。

このような価値ある文化財を有効活用するには、案内板の設置や散策する方のためのベンチ、駐車場などを整備し、「憩いの場」にしてはいかかがか。長者山遺跡と併せて、本市北部の新たな交流の拠点になると考えるが、見解を伺う。

教育部長 現在、文化庁に認定申請中の日立市文化財保存活用地域計画では、市内の文化財などを巡る日立市文化財回廊をエリアごとに設定しており、イブキ樹叢は、長者山遺跡と同じエリアに含まれている。

進入路及び駐車場の整備や、樹叢周辺へのベンチ等の設置に

については、文化財の保存と活用を同時に図るための学びの場づくりという目的に合致するものと受け止めている。これらを踏まえ、いぶき山イブキ樹叢の活用に向けた周辺環境の整備については、天然記念物の保全を図りつつ、活用と両立できる方策を研究・検討していきたいと考えている。



いぶき山イブキ樹叢

その他の質問

- 生涯学習の環境づくりについて

(録画配信)



小林 真美子 議員（無会派）

国民健康保険制度
—18歳未満の子供の
均等割をなくすこと—

議員 国民健康保険は、加入世帯主が年金収入のみの方や、非正規労働者の方などが多く加入する医療保険である。

保険料の算定には、世帯員の数に応じてかかる均等割があり、子供の数が多いほど負担が引き上がるため、子育て支援の観点から逆行している。

国は、来年度から就学前の子供に限って均等割の一部を軽減する予定であるが、学校に通いだし、お金がかかるようになると途端に均等割が跳ね上がることになり、負担解消には、それでもまだ足りないと考えている。

そこで、多子世帯の保険料が引き上がらないよう18歳未満の子供の均等割をなくすとともに、更に軽減策の拡充を図ることについて、見解を伺う。

保健福祉部長 国は多子世帯の子育てを支援する観点から、令和4年度から未就学児の均等割保険料の5割軽減措置を行うこととした。また、県においては、各市町村に対して、20歳未

(録画配信)



満の被保険者数に応じて総額5億円の特別交付金を交付する。

このような中、本市では、国や県の財政支援を活用し、子供のいる世帯の保険料の負担軽減を図られるよう検討していきたいと考えている。

また、子供にかかる均等割保険料の軽減制度の拡充については、全国市長会や全国知事会などの9団体が国に対して強く要望を行っているところであり、今後とも動向を注視していきたいと考えている。



その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 東海第二発電所再稼働問題について

伊藤 智毅 議員（ひたち未来）

東海第二発電所再稼働問題
—原発問題「自分ごと化会議」
など市民の意見反映—

議員 東海村では、昨年12月から原発問題を議論する「自分ごと化会議」を開催しており、福島第一原発の事故現場の見学も行った。第4回目の会議では、原発の安全性と今後のまちづくりについての議論が行われた。

県知事も、県民の意見を聞くための県民投票を排除しておらず、県民アンケート等の実施のニュアンスも伝わってくる。

本市においても、市民の意見を反映させるために、「自分ごと化会議」の設置や住民投票を実施するか、せめて住民アンケートを実施すべきと考えるが、見解を伺う。

副市長 東海村で行われている「自分ごと化会議」については、東海第二発電所の再稼働の是非を問わず、「原子力発電の現状と立地地域の未来」や「東海村の電源立地地域対策交付金事業とこれからの地域づくり」などをテーマとして、原子力について広く意見交換が行われている。本市においては、令和元年度

(録画配信)



に設置した日立市原子力安全対策懇談会の中で、東海村の「自分ごと化会議」同様、再稼働の是非を問わず、東海第二発電所の安全性や広域避難計画などについて、市民の代表者から自由な意見を伺っている。

今後は、東海村の「自分ごと化会議」も参考に日立市原子力安全対策懇談会の内容をより充実させ、引き続き、原子力の在り方について、広く意見や助言を募りたいと考えている。



東海第二発電所

その他の質問

- イトーヨーカドー日立店閉店への対策について
- 部活動改革について
- コミュニティ政策について

市民の声を市政に伝えるためには？



市政について要望や意見があるときは、次の方法により「請願書」や「陳情書」を市議会に提出することができます。

紹介議員の署名又は記名押印があるものを「請願」、ないものを「陳情」と言います。

【提出方法】

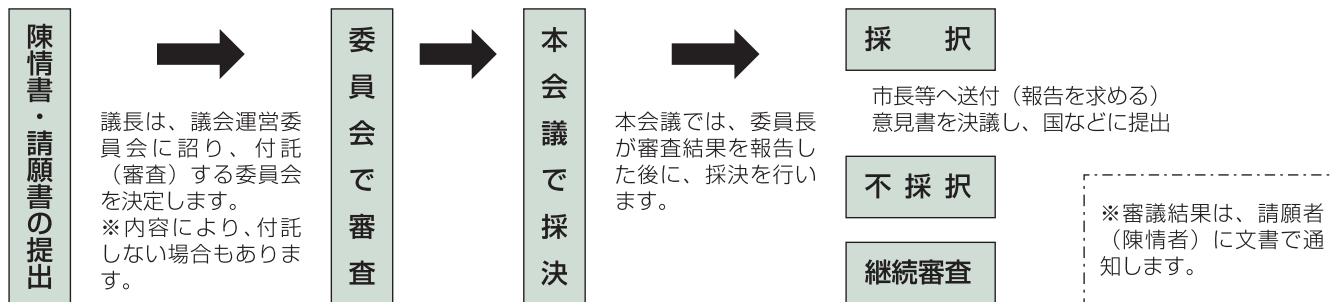
議会事務局へ直接持参してください。（郵送の場合は、審査は行わず、全議員に写しを配付します。）

【作成方法】

- ①用紙はA4判左とじ、原則横書き
- ②ボールペン等（鉛筆等の容易に修正が可能な筆記具を除く）で記載
- ③表紙には、「提出年月日」、「住所、氏名（署名又は記名押印）」を記載
※法人の場合は、「所在地」、「法人の名称及び代表者名（署名又は記名押印）」を記載
- ④署名簿を提出する場合は、「住所」、「氏名」を記載（代表者は署名しない）
- ⑤内容には、「件名」、「趣旨」、「理由」を記載
※道路、側溝、排水路など場所に関するものには、案内図や略図等を必ず添付
- ⑥内容が異なるときは、別々に請願（陳情）書を作成

「表紙」記載例	「内容」記載例
<p>令和〇年〇月〇日 紹介議員〇〇〇〇 ※請願のみ</p> <p>〇〇〇〇に関する 請願書（陳情書）</p> <p>請願者（陳情者） 住所〇〇〇〇 氏名〇〇〇〇 ほか〇〇人 (TEL - -)</p> <p>日立市議会議長 〇〇〇〇 殿</p>	<p>〇〇〇〇に関する 請願（陳情）</p> <p>1 請願（陳情）の趣旨</p> <p>2 請願（陳情）の理由</p>

【提出（持参）後の流れ】



ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

過去の請願等審議結果はこちら→

<https://www.city.hitachi.lg.jp/gikai/008/index.html>



特別委員会の開催状況

特別委員会は、特定の事件を審査する必要があると認められる場合に、議会の議決によって設置されます。

日立市総合計画特別委員会(12月15日)

総合計画とは？

日立市が今後10年間(令和4年度～令和13年度)で目指す将来都市像を定め、これを実現するための施策の大綱を明らかにする「基本構想」と、施策の大綱に基づき、5年間の施策や事業を体系的に定める「基本計画」で構成されます。

基本構想部分の策定には、議会の議決が必要です。



現在の基本計画はこちら↑

みんなでつくる計画

総合計画策定委員会

産・官・学・女性・若者など
様々な立場から審議

総合計画

インタビュー

各コミュニティ、大学生などにグループインタビュー

市議会

(日立市総合計画特別委員会)
議会の立場から審査

パブリックコメント

計画に対する意見・改善案を
広く募集

アンケート

市民の皆さんや各種団体

審査の経過

- 6月23日 総合計画の策定概要、各種調査等の結果について
- 7月28日 市民ニーズ調査の結果、新たな総合計画の体系(案)について
- 8月27日 基本構想素案、パブリックコメントの実施について
- 9月22日 現基本計画の進捗状況の評価について
- 10月28日 パブリックコメントの結果、基本構想(案)について

議案第69号 日立市総合計画(基本構想部分)の策定について

●議案紹介

まちづくりの基本理念

将来都市像

施策の大綱

安心とやさしさに あふれるまち
活力とチャレンジに あふれるまち
「ひたちらしさ」が あふれるまち

議案の詳細は
こちらから→



共創で新たな歴史を刻む 次世代型みらい都市 ひたち
～人づくり・まちづくり・そしてみんなの幸せづくり～

- 1 福祉・医療「健やかに生き生きと暮らせるまち」
- 2 教育・文化「未来を拓く人と多様な文化を育むまち」
- 3 産業「多様な活力があふれる産業のまち」
- 4 都市基盤「都市環境が充実した魅力あるまち」
- 5 生活環境「自然と調和した安全・安心のまち」
- 6 協働・行政運営「みんなで創る持続可能なまち」

●主な意見

- ・産業構造の変革が起きている中、市の産業施策は、新たな方向性を模索してはどうか。
- ・デジタル・トランスフォーメーションの推進の視点を加えるべき。
- ・担い手不足の課題があるコミュニティの施策について、若者の力が集まっているボランティアの施策と連動、連携してほしい。
- ・コロナ禍で影響を受けている中小企業の支援を新たな総合計画にも色濃く反映してほしい。など



詳細は、委員長報告
(議会中継)をご覧ください。→





ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会(12月14日)

かみね動物園へのジャイアントパンダ誘致に関し、これまでの経過や取組状況について報告を受け、質疑を行いました。

①日立市ジャイアントパンダ誘致推進会議の取組

パンダアートコンテスト作品展示会の開催

②いばらきパンダ誘致推進協議会の取組

パンダ誘致に係る交通環境への影響調査及び渋滞対策検討業務を委託

③NPO法人茨城県日中友好協会との連携及び取組支援

着ぐるみ制作、パンダダンス
楽曲・振付の制作

左：ばんだーくん
右：ばんだーなちゃん



⇒
胴体が伸びる



© JCFA / 710 / MM

幹線道路整備促進特別委員会(12月13日)

国や県による市内幹線道路の整備状況について説明を受け、質疑を行ったほか、現地を調査し、進捗状況を確認しました。



国道6号大和田拡幅の現地調査

議員定数等検討特別委員会(12月15日)

前回の委員会での各会派の意見や考え方を踏まえ、本市の人口の将来推計のほか、県内市及び全国類似都市の議員定数や議会費予算の現状に関する資料を参考に、今後の議員定数について議論を深めました。

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会(12月14日)

茨城県県民生活環境部から、現在進めている新産業廃棄物最終処分場基本計画の策定を含めた事業の取組状況について報告を受け、質疑を行いました。

質疑を通して、本委員会が県に提示してきた様々な意見・要望が反映されていることを確認しました。

- 23日 日立市総合計画特別委員会
- 22日 日立市総合計画特別委員会
- 20日 日立市総合計画特別委員会
表決)
- 17日 第4回市議会定例会閉会(各委員長報告)
- 16日 議会運営委員会
- 15日 議員定数等検討特別委員会、
日立市総合計画特別委員会
- 14日 ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会、
新産業廃棄物最終処分場整備調査特別
委員会
- 13日 幹線道路整備促進特別委員会
- 10日 環境建設委員会
- 9日 教育福祉委員会
- 8日 総務産業委員会
- 7日 本会議(一般質問、委員会付託、請願
文書表付託)、広報広聴委員会
議会運営委員会

12月

- 6日 本会議(議案説明、一般質問)、
議会運営委員会
- 29日 第4回市議会定例会閉会(議案説明)、
議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 19日 環境建設委員会
- 18日 総務産業委員会、教育福祉委員会
- 12日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 2日 議会運営委員会

11月

- 28日 日立市総合計画特別委員会
- 22日 茨城県市議会議長会定例会
- 7日 県北市議会議長会定例会
- 6日 広報広聴委員会

10月

議会日誌

傍聴者の声

細やかな質問に賛同！

十王町 菅谷 孝子



今回で2度目の市議会の一般質問を傍聴しました。

その中では、我が子が市立中学校に通っていることから小中学校の受水槽、高架水槽の質問について、とても興味を持ちました。コロナ禍で休校が続いていた学校では、使用していなかった水道水の水質検査をしてくださっていたことも今回初めて知ることができ、学校と行政との協力のもと、安全に学校生活が送られていることに感謝の気持ちを持ちました。

そのほか議場では、水道管の現状や計画的な改修等の質問、あるいは学校における管理体制など細やかな質問がされており、改めて、議会を傍聴するなど市政に興味を持ち参加することが、とても大切なことだと気づきました。

私自身も日立市民として、より住みやすい日立市となるようにできることを探求したいと感じました。今後も活気ある細やかな市議会に期待しております。

3月定例会は **3月2日(水)**開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 本会議 (開会)	3 議会運営 委員会	4 請願等の締切 (17:15まで)	5
6	7 本会議	8 本会議	9 本会議	10 本会議	11 常任委員会	12
13	14 常任委員会	15 常任委員会	16 特別委員会	17 特別委員会	18 特別委員会	19
20	21 春分の日	22 議会運営 委員会	23 本会議 (閉会)	24	25	26
27	28	29	30	31		

※日程は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対応等により変更することがあります。市議会ホームページでご確認ください。

今号の表紙は

2022年の干支は「壬寅(みずのえとら)」。
壬寅はどんな意味を持つ？

「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるとのこと。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです！



新猛獣舎の完成イメージ

寅年である今年の夏、かみね動物園の猛獣舎が自然の生育環境に近い形で生まれ変わります。現在飼育しているライオンとトラに加え、別の猛獣を新たに導入する予定です。

ぜひ、かみね動物園で運気を高めてください！

議会中継

ケーブルテレビ(JWAY)・FMラジオ(FMひたち)・パソコン・スマートフォン・タブレット(日立市議会ホームページ)で本会議(開会日、代表質問、一般質問、最終日)が視聴できます！

※ホームページでは、会議の日の約1週間後から録画配信を行います。

日立市議会



発行：日立市議会

〒317-8601茨城県日立市助川町1-1-1
☎0294-22-3111(内線371,372)
IP電話 050-5528-5113(直通)
E-mail gikai@city.hitachi.lg.jp

編集：広報広聴委員会

委員長／吉田 修一 副委員長／杉本 和子
委員／堀江 紀和 豊田 茂 篠田 砂江子 下山田 幹子 瀬谷 幸伸 伊藤 智毅